

第2学年 国語 科 年間指導計画

担当	上野竜哉 平山壽美 川里尚子	教科 目標	国語を適切に正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めると共に、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。
教科書 副教材、用具		光村図書「国語2年」、よく分かる国語の学習2（明治図書）漢字レッスン（浜島書店）、新・国語の便覧（正進社）つまずかない！文法の学習（新学社）、国語辞典、漢和辞典、習字道具（毛筆）	
月	単元（題材）名 教材名	単元（題材）のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法
4	見えないだけ	○抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 ・詩を通読する。 ・好きな言葉や表現をノートに書き写し、その理由をまとめ、発表する。 ・友達の発表を聞いて考えたことも踏まえて、詩の内容が効果的に伝わるように工夫して朗読する。	＜知識・技能＞ 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。（発言、ノートの記述） ＜主体的に取り組む態度＞ 進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。（朗読）
	アイスプラネット	○文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。 ・作品を通読する。 ・他の登場人物の言動や表現から「ぐうちゃん」の特徴を捉える。 ・「ぐうちゃん」に対する「僕」の思いを読み取る。 ・主人公の考えの変化を物語の展開とともに捉える。 ・「ぐうちゃん」に対する自分の思いをまとめ、登場人物の設定の捉え方について、わかったことを挙げる。	＜知識・技能＞ 登場人物の心情や考え方が表れた語句に注意して、作品を読んでいる。（ノートの記述） ＜思考・判断・表現＞ 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。（ノートの記述） ＜主体的に取り組む態度＞ 積極的に登場人物の設定のしかたなどを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。（発言）
	問いを立てながら聞く	○論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。 ・意見と根拠を整理し、疑問に思うことや確認したいことを考えながら聞く。 ・メモを基にグループ内の友達と意見や根拠の適切さについて話し合う。	＜知識・技能＞ 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。（ワークシート） ＜思考・判断・表現＞ 「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。（ワークシート） ＜主体的に取り組む態度＞ 進んで論理の展開などに注意して聞き、今までの学習を生かして疑問点や確認したい点を考えようとしている。（ワークシート）
5	枕草子	○文章を読んで理解したことや考え	＜知識・技能＞

		たことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 ・冒頭を読み、作者が四季のどんなところに趣を感じているのかを整理し、自分が感じる四季の趣と比べる。 ・「枕草子」の形を借りて、自分ならではの季節感を表す文章を 400 字程度で書く。	作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 (ノート・発言) <思考・判断・表現> ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(ノート) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。(ワークシート)
情報整理のレッスン 職業ガイドを作る		○目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 1 調べる職業を決め、それらに適した調べ方を考えて、多様な方法で情報を集める。 2 集めた情報を図や記号、表などを用いて分類・整理する。 3 見出しや文章、図・表・グラフ、写真などの配置を工夫した紙面構成を考える。 4 下書きし、紙面を作る。 5 完成した作品を読み合い、感想を伝え合う。	<知識・技能> 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(ワークシート) <思考・判断・表現> 「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 粘り強く多様な方法で集めた材料を整理し、学習の見通しをもって職業ガイドを作ろうとしている。(ワークシート)
クマゼミ増加の原因を探る		○文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えることができる。 1 全体と部分の関係に注意して、構成を捉える。 2 文章と図表の関係に注意して、内容を読み取る。	<知識・技能> 話や文章の構成や展開について理解を深めている。(発言、ノート) <思考・判断・表現> ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。(ノート) ・「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。(ノート) <主体的に取り組む態度> 積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話

6	魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう	○自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。 1 提案内容を決めて、情報を集める。 2 効果的な話の構成を考える。 3 プレゼンテーションをする。 4 プレゼンテーションを振り返り、よかった点や改善点を考える。 ○目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる ○観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。 1 メディアを比べて、特徴を理解する。 2 目的や状況に応じたメディアの選び方を考える。 3 情報の受け取る時の留意点を考える。	し合おうとしている。 <知識・技能> 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(発言) <思考・判断・表現> ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(発表、原稿) ・「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(発表、原稿) <主体的に取り組む態度> 粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。(発表の様子) <知識・技能> 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(発言) <思考・判断・表現> ・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 粘り強く観点を明確にして文章を比較し、学習課題に沿って目的や状況に応じたメディアの選び方を理解しようとしている。(ワークシート)
7	短歌に親しむ	○観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考えることができる。 ○文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 1 短歌を読み、短歌についてまとめる。 2 「短歌を味わう」を読み、内容や表現のしかたについて感じたことを話し合う。	<知識・技能> 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(ワークシート) <思考・判断・表現> ・「読むこと」において、観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考え、知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 進んで短歌の構成や表現の効果について考え、学習の見通しをもって短歌を創作しようとしている。(ワークシート) <知識・技能>

	言葉の力	○文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 1 全文を通読する。 2 文章を要約して、内容を捉える。 3 筆者の考え方について話し合う。	本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(発言) ＜思考・判断・表現＞ 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(ワークシート) ＜主体的に取り組む態度＞ 進んで文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。(態度、ワークシート)
	「わからない」は人生の宝物 読書案内 本の世界を広げよう	1 二人の翻訳者による「星の王子さま」を読み比べる。 2 翻訳や外国文学について知る。 ・「星の王子さま」や読書コラムを読み、「翻訳」の意味や、翻訳作品・外国文学のおもしろさについて理解する。 3 「本の世界を広げよう」を参考に、今後読みたい本を考える。	＜知識・技能＞ 本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(態度) ＜思考・判断・表現＞ 「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考え、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(ワークシート) ＜主体的に取り組む態度＞ 進んで表現の効果について考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。(態度、発表内容)
9	盆土産	○登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 1 全文を通読し、作品の構成を捉える。 2 登場人物の言動や様子を描いた表現から読み取れる、人柄や心情について考える。 3 作品中の「えびフライ」「えんぴフライ」という語について、それぞれ話し手のどんな心情が込められているか発表する。(学習②-2) 4 自分が捉えた作品の印象を具体的な場面や描写を基に、伝え合う。	＜知識・技能＞ 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(ノート、態度) ＜思考・判断・表現＞ 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(ノート) ＜主体的に取り組む態度＞ 粘り強く登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って作品の印象を伝え合おうとしている。(発言、態度)
	字のない葉書	○観点を明確にして文章を比較する	＜知識・技能＞ 本や文章などには、さまざまな立場や

	聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す 表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く	などし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。 1 全文を通読し、二つの思い出を整理する。 2 表現に着目して、人柄や心情について読み取る。 3 父親に対する「私」の思いについて考える。 ○論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。 1 インタビューの準備をする。 2 インタビューを行う。 ・教科書の例を参考に、思いや考えを引き出すためにどのように質問したらよいかを考え、役割を交代しながら、インタビューを行う。 3 学習を振り返る。 ○根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 1 手紙と電子メールを比較し、活用場面を考える。 2 伝えたい内容を決め、通信手段を選ぶ。 3 相手や目的に応じて敬語を用い、気持ちや用件が伝わるように具体例を入れるなど、表現の工夫をさせて手紙や電子メールを書く。 ○読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。 1 木本さんの手紙の下書きを読み、適切な文字や表記に書き改める。 2 ……線部㊦㊧について、より効果的な表現を考える。 3 学習を振り返る。 ・どのような点に着目して、手紙を推	考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(ノート、発言) <思考・判断・表現> 「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。(ノート) <主体的に取り組む態度> 進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。(ノート、発言) <知識・技能> 言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。(態度) <思考・判断・表現> 「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 粘り強く論理の展開に注意して聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出す質問をしようとしている。(ワークシート、発言) <知識・技能> 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。(ワークシート) <思考・判断・表現> 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書こうとしている。(ワークシート、態度) <知識・技能> 敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。(ワークシート) <思考・判断・表現> 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 粘り強く文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。
10	[推敲]表現の効果を考える		

	モアイは語る ——地球の未来	敵したか。 ○意見と根拠, 具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 1 全文を通読し、文章の構成に着目し、内容を捉える。 2 文章の構成に着目し、内容を捉える。 3 論理の展開を吟味する。 4 筆者の主張に対する考えを文章にまとめる。 5 学習を振り返る。	(ワークシート、態度) <知識・技能> 意見と根拠, 具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 (ノート、観察) <思考・判断・表現> 「読むこと」において、文章の構成や論理の展開について考えている。(ノート) <主体的に取り組む態度> 粘り強く論理の展開について考え、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。(ノート、観察)
	根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く	○根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 1 社会生活の中から課題を決め、分析する。 2 賛成・反対の立場を決め、意見を支える根拠を考える。 3 反論を想定して、構成を考える。 4 意見文にまとめる。 5 意見文を友達と読み合い、根拠の適切さについて、説得力があると思ったところや改善点を伝え合う。	<知識・技能> 意見と根拠, 具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 (ワークシート、観察) <思考・判断・表現> 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 粘り強く根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。(ワークシート、観察)
	[討論]異なる立場から考える	○意見と根拠, 具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。 1 テーマに沿って集められた①～⑧の事実を読む。 2 賛成・反対それぞれの立場の人が、①～⑧を基にどんな意見を述べるのかを考え、一つの情報が、賛成・反対どちらの根拠にもなり得ることを理解する。	<知識・技能> 意見と根拠, 具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 (ワークシート、観察) <思考・判断・表現> 「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(観察、ワークシート) <主体的に取り組む態度> 進んで意見と根拠の関係について理解し、今までの学習を生かして異なる立場の人の意見を想定しようとしている。(ワークシート、観察)
	立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する	○目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 1 地域や社会で話題になっていることの中から、討論したいテーマを決め、情報を集める。	<知識・技能> 意見と根拠, 具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 (観察、ワークシート) <思考・判断・表現> 「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(態度、ワークシート) <主体的に取り組む態度>

1 1	音読を楽しもう 月夜の浜辺 源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語 仁和寺にある法師——「徒然草」から	2 立場を決めて、意見と根拠をまとめる。 3 グループで討論する。 4 討論による考えの深まりや広がりについて伝え合い、討論を振り返る。 ○抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 1 全文を通読する。 2 詩を声に出して読む。 3 表現に着目し、その効果について考える。 4 言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 ○登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 1「平家物語」の冒頭部分と「扇的」を繰り返し朗読する。(学習①) 2 登場人物の言動から、心情を考える。 3「扇的」に登場する人物たちの言動から読み取ったものの見方や考え方について、自分の考えを述べる。(学習③) ○文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 1「徒然草」の冒頭部分と「仁和寺にある法師」の原文を朗読し、内容をまとめる。 2 法師と同じような勘違いをした経験がないかを踏まえて、考えたことを話し合う。(学習③) 3 人物の特徴を捉えて、文章にまとめる。	進んで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。(態度、ワークシート) <知識・技能> 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(観察) <思考・判断・表現> 「読むこと」において、詩の構成や表現の効果について考えている。(ワークシート、音読) <主体的に取り組む態度> 進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして詩を朗読しようとしている。(音読) <知識・技能> 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(ノート、観察) <思考・判断・表現> 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(ノート) <主体的に取り組む態度> 進んで登場人物の言動の意味について考え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。(ノート、態度) <知識・技能> 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(ノート、観察) <思考・判断・表現> ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(ノート) ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(ノート) <主体的に取り組む態度> 積極的に考えたことを知識や経験と結び付け、学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。(ノート) <知識・技能> 作品の特徴を生かして朗読するなど
-----	---	--	--

	漢詩の風景	○観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えることができる。 1 漢詩の特徴を生かして朗読する。(学習①) 2 解説を手がかりに、漢詩を読み味わう。(学習②) 4 好きな漢詩を選び、その理由を伝える。	して、古典の世界に親しんでいる。(観察) <思考・判断・表現> 「読むこと」において、観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えている。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 進んで作品の特徴を生かして朗読し、学習課題に沿って好きな漢詩を選び、その理由を述べようとしている。(ワークシート、観察)
1 2	君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しさ	○観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。 1 全文を通読する。 2 「君は『最後の晩餐』を知っているか」の内容を捉える。 3 文章を比較して、構成や表現の特徴を捉える。 4 考えたことを文章にまとめる。(学習③)	<知識・技能> 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(ノート、観察) <思考・判断・表現> 「目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈し、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(ノート) <主体的に取り組む態度> 粘り強く観点を明確にして文章を比較し、今までの学習を生かして考えたことを文章にまとめようとしている。(ノート)
	魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く	根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 1 作品を鑑賞し、魅力の根拠となる具体的な特徴、感じたこと・想像したことを付箋などに書き出す。 2 表現の効果を考える。 3 読み手を意識して、200字程度で鑑賞文を書く。 4 文章を読み合い、意見交換をする。	<知識・技能> 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(ワークシート、観察) <思考・判断・表現> 「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 進んで表現の効果を考えて描写し、今までの学習を生かして鑑賞文を書こうとしている。(ワークシート、観察)
	研究の現場によろこそ 日本に野生のゾウやサイがいた頃 クモの糸でバイオリン 読書案内 本の世界を広げよう	○本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。 1 「研究の現場によろこそ」を通読する。 2 「クモの糸でバイオリン」を通読する。	<知識・技能> 本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(観察) <思考・判断・表現> 「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げた

1	走れメロス	3 感想を伝え合う。 4 P191「本の世界を広げよう」を参考に、今後読みたい本を考える。 ○登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 1 全文を通読する。 2 作品の設定と構成を押さえる。 3 場面の展開に即して人物像を読み取る。 4 作品の魅力をまとめ、語り合う。(学習③) 5 学習を振り返る。	り深めたりしている。(ワークシート) ＜主体的に取り組む態度＞ 本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。(ワークシート、観察) ＜知識・技能＞ 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(ノート、観察) ＜思考・判断・表現＞ 「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(ノート) ＜主体的に取り組む態度＞ 粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。(ノート)
2	構成や展開を工夫して書こう 「ある日の自分」の物語を書く 国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る	○表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見い出すことができる。 1 これまでに学習してきた物語や小説を振り返り、作品の設定や構成、登場人物の心情の変化について確かめる。 2 題材を考える。 3 物語の設定とあらすじを考える。 4 構成や展開を工夫して物語を書く。 5 友達が書いた物語を読み、助言し合う。 6 学習を振り返る。 ○読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。 1 グループで話し合い、自分たちの変化から「国語を学ぶ意義」を考え、グループで壁新聞のテーマを一つに決める。 2 壁新聞の内容を話し合う。 3 壁新聞を作る。 4 壁新聞を読み合い、感想を伝え合う。 5 学習を振り返る。	＜知識・技能＞ 話や文章の構成や展開について理解を深めている。(ノート、観察) ＜思考・判断・表現＞ 「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(ノート) ＜主体的に取り組む態度＞ 粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。(ノート、観察) ＜知識・技能＞ 話や文章の構成や展開について理解を深めている。(観察) ＜思考・判断・表現＞ ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(ワークシート、観察) ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(ワークシート) ＜主体的に取り組む態度＞ 粘り強く文章の構成や展開を工夫し、今までの学習を生かして壁新聞を作る

	木	○抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 1 詩を通読する。 2 詩の中の印象に残った表現を挙げ、どんな印象を受けたかを話し合う。 3 表現の意味を考える。 4 作者のものの見方について語り合う。	うとしている。(観察) <知識・技能> 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(ワークシート、観察) <思考・判断・表現> 「読むこと」において、詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 進んで詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。(ワークシート、観察)
3	学習を振り返る	○観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えることができる。 1 P256の小説を読み、学習課題に取り組む。 2 P257の提案を聞き、学習課題に取り組む。 3 P258のメールの下書きを読み、学習課題に取り組む。	<知識・技能> 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(ノート、観察) <思考・判断・表現> ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。(ノート) ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(ノート) <主体的に取り組む態度> 進んで登場人物の設定のしかたや根拠の適切さを考え、今までの学習を生かして、学習課題に取り組もうとしている。(ノート、観察)

第2学年 国語科書写 年間指導計画

1学期	硬筆（行書）	- 行書における点画の方向や形の変化を確認する。 - 点画の連続を理解する。	楷書との違いを意識して書けたか。
2学期	毛筆（行書）	- 点画の省略を理解する。 - 筆順の変化を理解する。 - 書き初めの手本（行書）を見て、行書の特徴を確認しながら練習をする。	省略や筆順の違いが生じる文字の形を覚えて書くことができたか。
3学期	- 行書に仮名を交えて書く。 - 自分の好きな詩を行書で書く。	- 行書と仮名の調和（文字の大きさや行の中心）を理解する。 - 行書の字形の整え方の原則を理解する。	- 行書の字形の整え方の原則を確認して、書くことができたか。 - 始筆終筆の形の変化を意識することができたか。

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	・ 定期考査 ・ 漢字テスト ・ 小テスト ・ 聞き取りテスト ・ 話し合い活動 ・ 発表 ・ 作文 ・ 授業やワークシート等への取り組み状況 ・ 書写（硬筆、毛筆）	・ 定期考査 ・ 小テスト ・ 聞き取りテスト ・ 話し合い活動 ・ 発表 ・ 作文 ・ 作品 ・ 授業やワークシート等への取り組み状況	・ 授業や提出物、ノート、ワークシート等、粘り強く取り組む様子を評価する。 ・ 話し合い活動や発表、暗唱などに粘り強く取り組む様子を評価する。 ・ 定期考査における解答から、粘り強く答えようとしている様子を評価する。
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

- ・ 一時間一時間の授業を大切にしましょう。
（忘れ物をしないようにしましょう。）
- ・ 先生や友達の話をしっかり聞き取りましょう。
- ・ 教科書は、家庭学習の際に声を出して何度も読みましょう。
- ・ 漢字は、漢字ドリル・ワーク・ノートを利用し、書いて覚えましょう。
- ・ 分からない言葉は自分で調べ、短文作りをして、学んだことを活用できるようにしましょう。
- ・ 短い文章や詩・俳句・短歌などは暗唱しましょう。
- ・ 日々の漢字テスト、またまとめの漢字テストなどにしっかり取り組みましょう。（とめ、はね、はらいにも気を付けて、丁寧に書く癖を付けましょう。）
- ・ 自分の頭でよく考え、考えや感想、気付いたことや疑問点をノートにメモする力を付けましょう。
- ・ 自分の考えや意見が相手に伝わるように工夫して発表する力を付けていきましょう。
（スピーチする力、話し合う力を付けましょう。）
- ・ 提出物は大切な自分の記録になります。丁寧に書き、プリント類はきちんとファイルにとじておきましょう。
- ・ さまざまな分野の本にふれ、自分の考えを広げましょう。

第2学年 社会科 年間指導計画

担当	伊東橋本	教科目標	地理的および歴史的な見方・考え方を多面的・多角的に学ぶ活動を通して、持続可能な社会を視野に入れ、社会のさまざまな課題を主体的に追求し、国際社会で平和で民主的な社会を形成する公民としての資質・能力を育成する。
教科書 副教材、用具		帝国書院 地理 歴史 地図帳 資料集 とうほう ビジュアル地理(世界日本) 問題集 学宝社 学習整理 地理2 歴史2・3	
地理			
月	単元（題材） 名 教材名	単元（題材）のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法
4月 5月 6月 7月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月	日本のさまざまな地域 地域のあり方	世界について学習したことをふまえ、日本の各地域の特色と役割を、背景にある課題に着目して学ぶ ア 地域調査 イ 日本の地域的特色と地域区分 ウ 九州地方 エ 中国・四国地方 オ 近畿地方 カ 中部地方 キ 関東地方 ク 東北地方 ケ 北海道地方 地域の課題や取り組みを学ぶ	<知識・技能> 日本の各地域の特色と役割を身に付けている。（小テスト・定期テスト・提出課題） <思考・判断・表現> 日本の各地域の特色と役割を、世界との関係に着目し考えている。（小テスト・定期テスト・提出課題） <主体的に取り組む態度> 日本の各地域と全国的な課題を主体的に追及しようとしている。（小テスト・提出課題） <知識・技能> 地域の課題と取り組みを身に付けている。（小テスト・定期テスト・提出課題） <思考・判断・表現> 地域の課題と取り組みを他地域と比較して考えている。（小テスト・定期テスト・提出課題） <主体的に取り組む態度> 地域の課題と自分にできることを主体的に追求しようとしている。（小テスト・提出課題）
歴史			
月	単元（題材） 名 教材名	単元（題材）のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法
4月 5月 6月 7月	歴史 近世の日本	対外関係を背景とする近世社会の成立と、近代につながる社会の変化の様子を学ぶ。 ア ヨーロッパ人との出会いと全国統一 イ 江戸幕府の成立と対外政策	<知識・技能> 近世社会の成立と変化の様子を身に付けている。（小テスト・定期テスト・提出課題） <思考・判断・表現> 対外関係と近代につながる要素に着目し世界と日本の地域構成の特色について考えている。（小テスト・定期テスト・提出課題）

9 月 10 月	歴 史 開 国 と 近 代 日 本 の 歩 み	ウ 産業の発達と幕府政治の動き	＜主体的に取り組む態度＞ 近世が日本社会にのこした課題を主体的に追及しようとしている。（小テスト・提出課題）
11 月 12 月		ア 欧米諸国が近代社会を成立させアジアに進出したことを背景とし、わが国が近代社会の形成に向かって歩み出したことを学ぶ。	＜知識・技能＞ 欧米の近代化を背景とした、わが国近代化の過程を身に付けている。（小テスト・定期テスト・提出課題） ＜思考・判断・表現＞ わが国近代化の特色を、世界的背景の中で考えている。（小テスト・定期テスト・提出課題）
1 月 2 月		イ 欧米の進出と日本の開国	＜主体的に取り組む態度＞ わが国の近代化がのこした課題を主体的に追求しようとしている。（小テスト・提出課題）
		ウ 明治維新	
3 月		エ 日清・日露戦争と近代産業	

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	定期テスト 小テスト(単元テスト) 授業への取り組み (発言・提出課題・ワークシート) 長期休業中の課題	定期テスト 小テスト(単元テスト) 授業への取り組み (発言・提出課題・ワークシート) 長期休業中の課題	授業への取り組み (発言・提出課題・ワークシート) 長期休業中の提出課題
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

○授業：毎時の授業を大切にし、繰り返し学習し、知識の定着を図りましょう。受け身の授業ではなく、自分から積極的に発言し、作業に取り組みましょう。地理の授業は作業が多くなります。 ○ワークシート：基本的な知識を身に付け、発展・応用問題に取り組めるように、チャレンジしていきましょう。 ○課題(長期休業)：調べ学習を行う予定です。意欲をもって取り組みましょう。 ○定期テスト：授業時に習った内容を振り返り、問題を解くことができるようにしましょう。普段の取り組みが、成果に表れるので、家庭学習での振り返りを大切にしてください。

第2学年 数学科 年間指導計画

担当	中藺 高松 藤間 金成	教科 目標	基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能や数学的活動の楽しさや数学の良さに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度を養う。
教科書 副教材、用具		「新しい数学2」（東京書籍） ワーク「スパイラル式 数学のパターン演習」 定規、三角定規、コンパス、電卓、タブレット	
月	単元（題材）名 教材名	単元（題材）のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法
4	1章 文字式を使って説明しよう[式の計算]	○単項式と多項式、次数、同類項の意味を理解する。 ○多項式についての四則の計算ができる。 ○数の性質を見つけ、いつでも成り立つことを説明できる。	<知識・技能> 単項式と多項式、次数、同類項の意味を理解し、多項式についての四則の計算ができる。（定期考査、小テスト） <思考・判断・表現> 2つの文字をふくむ同類項をまとめる計算を考え、説明することができる。（定期考査、小テスト） <主体的に取り組む態度> 既習の計算方法と関連付けて、多項式の計算方法を考えようとしている。（ノート、ワーク、レポート）
5	2章 方程式を利用して問題を解決しよう[連立方程式]	○連立方程式とその解について意味を理解し、解を求めることができる。 ○いろいろな形の連立方程式について、計算方法を工夫して解を求めることができる。 ○具体的な問題で連立方程式を利用して解決することができる。	<知識・技能> 連立方程式とその解について意味を理解し、加減法と代入法を用いて連立方程式を解くことができる。（定期考査、小テスト） <思考・判断・表現> 連立2元1次方程式を利用して、具体的な問題を解決することができる。（定期考査、小テスト） <主体的に取り組む態度> 連立方程式を具体的な問題の解決に利用しようとしたり、問題解決の過程を振り返って、その手順を検討しようとしたりしている。（ノート、ワーク、レポート）
6	3章 関数を利用して問題を解決しよう[1次関数]	○1次関数について意味や性質を理解し、表、式、グラフに表すことができる。 ○2元1次方程式や連立方程式について、1次関数の考え方を用いて解を求めることができる。 ○身の回りの事象を1次関数とみなし、問題を解決することができる。	<知識・技能> 1次関数の意味や性質を理解し、表、式、グラフに表すことができる。（定期考査、小テスト） <思考・判断・表現> 具体的な事象の中の数量の関係を1次関数とみなし、その表、式、グラフを利用して問題を解決することができる。（定期考査、小テスト） <主体的に取り組む態度>
7			
9			

1 0			1 次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。(ノート、ワーク、レポート)
1 1	4 章 図形の性質の調べ方を考えよう [平行と合同]	○図形について外角、内角、対頂角、同位角、錯角について位置や関係について理解する。 ○角の大きさの求め方を、補助線や根拠となる図形の性質を明らかにして説明することができる。 ○三角形の合同条件を理解し、2 つの三角形が合同かどうかを判断することができる。	<知識・技能> 平行線や角の性質を理解し、合同の意味と三角形の合同条件について理解している。(定期考査、小テスト) <思考・判断・表現> 基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにしてそれらを確認し、説明することができる。(定期考査、小テスト) <主体的に取り組む態度> 平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとし、証明の必要性和意味及び証明の方法を考えようとしている。(ノート、ワーク、レポート)
1 2	5 章 図形の性質を見つけて証明しよう [三角形と四角形]	○定義、頂角、底辺、底角、定理、逆、反例、斜辺、対辺、対角といった、平面図形についての説明に必要な語句について理解する。 ○三角形や四角形について、性質や合同を証明することができ、特別な三角形や四角形になるための条件を理解する。	<知識・技能> 定義やことがらの仮定と結論、反例、逆の意味を理解しており、証明の必要性和意味及びその方法について理解している。(定期考査、小テスト) <思考・判断・表現> 三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。(定期考査、小テスト) <主体的に取り組む態度> 平面図形の性質や図形の合同について学んだことを生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。(ノート、ワーク、レポート)
1		○多角形の面積を変えずに変形することができる。	
2	6 章 起こりやすさをとらえて説明しよう [確率]	○起こりうる場合の組み合わせを考えて、確率を求めることができる。 ○身のまわりの事象の起こりやすさを、確率をもとにして考え、説明することができる。	<知識・技能> 場合の数をもとにして得られる確率の必要性和意味を理解し、簡単な場合について確率を求めることができる。(定期考査、小テスト) <思考・判断・表現> 確率を用いて不確定な事象を捉え、考察し表現することができる。(定期考査、小テスト) <主体的に取り組む態度> 不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。(ノート、ワーク、

	7章 データを比較して判断しよう [データの比較]	○箱ひげ図と四分位範囲の意味や特徴を理解し、データを整理して箱ひげ図に表すことができる。 ○四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取ることができる。	レポート) <知識・技能> 四分位範囲や箱ひげ図の必要性和意味を理解し、データを整理し箱ひげ図で表すことができる。(定期考査、小テスト) <思考・判断・表現> 四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取ることができる。(定期考査、小テスト) <主体的に取り組む態度> データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとし、問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。(ノート、ワーク、レポート)
3	数学の自由研究		

※以下は、令和4年4月に作成

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	小テスト 章テスト 定期考査	小テスト 章テスト 定期考査	レポート 小テスト 章テスト ノート ワーク
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

- ☆ 一番大事なのは授業中の集中と理解です。次に、分からないことをそのままにしないで友達や先生にたくさん質問することです。「継続は力なり」なので、授業のあった日は必ず復習して、教科書、ワーク、プリントなど教材を使って、根気よく、粘り強く取り組んでください。地道にコツコツ頑張る人が必ず力を伸ばします。
- ☆ 定期考査の得点を気にすることは当然ですが、授業で理解したことを確認するのがテストであり、また普段の授業も成績に入っていることを忘れずに。
- ☆ 定期考査では、授業でどれだけ話を聞いて頑張っているかが分かるような問題を出題します。

【評価】主体的に学習に取り組む態度は次のポイントを押さえてください。

- ・レポート課題は、各章ごとに出します。自分なりのまとめやその章で気になったことなどを自分の言葉でまとめるようにしましょう。
- ・ノートは、必ず各授業の終わりにその日に学んだことを自分の言葉で書くようにしましょう。また、黒板を写すだけのノートではなく、メモや自分なりのまとめなどを書くように心がけましょう。

第2学年 理科 年間指導計画

担当	人見 (篠宮) 本橋	教科 目標	(1)自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
教科書 副教材、用具		新しい科学 東京書籍 理科の完全学習 2年 基礎徹底 48回 サクラファイル			
月	単元（題材）名 教材名	単元（題材）のねらい 主な学習内容		主な評価規準と評価方法	
4 5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	生物のからだの つくりとはたらき	・生物と細胞 ・植物のからだのつくりとはたらき ・動物のからだのつくりとはたらき ・刺激と反応		<知識・技能> からだのつくりの共通点や相違点に着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(ワークシート、小テスト、定期考査) <思考・判断・表現> からだのつくりや生物の変遷についての問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(ワークシート、小テスト、定期考査) <主体的に取り組む態度> 生物のつくりに関する観察、実験に進んでかかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(ワークシート)	
4 5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	天気とその変化	・気象の観測 ・雲のでき方と前線 ・大気の動きと日本の天気		<知識・技能> 天気の仕組みや移り変わりに着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(ワークシート、小テスト、定期考査) <思考・判断・表現> 天気についての問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(ワークシート、小テスト、定期考査) <主体的に取り組む態度> 天気に関する観察、実験に進んでかかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(ワークシート)	
4 5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	化学変化と 原子・分子	・物資のなり立ち ・物質どうしの化学変化 ・酸素がかかわる化学変化 ・化学変化と物質の質量 ・化学変化とその利用		<知識・技能> 物質の成り立ちや変化に着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(ワークシート、小テスト、定期考査) <思考・判断・表現> 物質の成り立ちや変化についての観察、実験などを通して、共通点や相違点を見いだすとともに分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(ワークシート、小テスト、定期考査) <主体的に取り組む態度> 化学変化の観察、実験に進んでかかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(ワークシート)	
4 5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	電気の世界	・静電気と電流 ・電流の性質 ・電流と磁界		<知識・技能> 電気にかかわる現象に着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(ワークシート、小テスト、定期考査) <思考・判断・表現> 電気にかかわる現象についての観察、実験などを通して、共通点や相違点を見いだすとともに分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(ワークシート、小テスト、定期考査) <主体的に取り組む態度> 電気にかかわる現象の観察、実験に進んでかかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(ワークシート)	

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	・実験・観察・実習の取り組みの様子 ・ワークシートの記入状況 ・授業の取り組みの様子 ・定期考査 ・ワークシート、プリント ・小テスト	・定期考査 ・実験・観察・実習の取り組みの様子 ・ワークシートの記入状況 ・実験プリントの考察への取り組みの様子 ・小テスト	・授業の取り組みの様子 ・授業中の発言 ・ノートの記入状況 ・ワークシートの記入状況 ・ワークの記入状況
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

- ・理科では、授業中の「今そのとき」が大切です。その時に考えるべきことを考え、取り組むべきことに取り組み、頭と手を十分はたらかせてください。
- ・観察、実験、実習にはすすんで取り組みましょう。準備から後片付けまで、班で分担し、協力して行いましょう。
- ・観察、実験、実習、実験報告書の取り組みは、学習を進める上でとても重要です。実験の目的やまとめの方法などがあらかじめ提示した基準に達することができているかを見ています。
- ・プリント、ノートやワークなどの提出物は必ず期限を守って提出しましょう。そのためには提出期限を目標にして復習を進めることが必要です。普段から少しずつ時間を見つけて復習しましょう。
- ・ワークの評価は、「学習してあるか」の他に「自分の力で時間をかけて学習しているか」「ワークを復習に活用しているか」「計画的に復習しているか」なども見えています。
- ・定期考査に向けてしっかりと準備をしておきましょう。重要語句は漢字で書けるようにしておくこと。授業の内容は問題集を通して、理解できているか確認をしましょう。疑問やわからないところがあったら、自分で調べたり質問したりして解決しましょう。
- ・忘れものをしないように気を付けること。忘れものをすると十分に学習に取り組むことができません。
- ・プリントはていねいにきちんと書くようにしましょう。また、欠席などで受けられなかった授業の内容は忘れずに早めに補充をしておきましょう。

第2学年 音楽科 年間指導計画

担当	柏倉かほる	教科 目標	音楽の学習や活動を通して、生活を明るく豊かなものにし、音楽を愛好する心を養う。	
教科書 副教材、用具		中学生の音楽2（教育芸術社） 音楽のおくりもの中学器楽（教育出版） コーラスフレンズ（教育芸術社）、アルトリコーダー、箏		
月	単元（題材）名 教材名	単元（題材）のねらい 主な学習内容		主な評価規準と評価方法
4	夢の世界を 翼をください MyVoice	・拍にのって、響きのある声で合唱する。 ・前半と後半の曲想の違いを感じ取って、ふさわしい表現を工夫する。 ・パートの役割や部分的な曲想の違いを感じ取って、曲にふさわしい表現を工夫する。 ・自分の思いを歌声にのせるため、スムーズな息の流れを工夫した響きのある発声をする。		・混声三部の響き→観察【学習に向かう態度】 ・曲の特徴と歌詞【知識】 →定期考査 ・歌唱のシート【学習に向かう態度】 ・鑑賞のシート…特徴をとらえた感想【思考・判断・表現】
5	フーガ短調 （鑑賞1）	・次々と現れる主題に注目し、旋律が重なり合っていく美しさを味わう。 ・パイプオルガンの豊かな響きを感じ取る。		
6	リズムゲーム （創作1） 夏の思い出	・十六分音符やシンコペーションのリズムを使ってアンサンブルをする。		
7	アルトリコーダーアンサンブル ラヴァースコンチェルト	・情景を思い浮かべながら、言葉を大切に曲想と伴奏を感じながら歌う。 ・サミングと息使いに注意しながら、主旋律と副旋律の関わり合いを感じて演奏する。 ・滑らかな運指に気を付ける。		・夏の思い出…音程・発音【知識・技能】、発声・曲想【思考・判断・表現】 ・リコーダーアンサンブル…運指【技能】、旋律線、テクスチュア【思考・判断・表現】→チェック ・アルトリコーダーの運指【知識・技能】→定期考査
9	時の旅人 （混声三部合唱）	・パートの役割を理解し、詞の内容を考えながら正しい音程で表現を工夫して歌い合わせる。 ・混声合唱の響きを生かしながら、互いの声や伴奏をよく聴いて歌う。		
10	サンタルチア	・ナポリ民謡の特徴を感じ取り、曲想を生かして表情豊かに歌う。 ・言葉の美しい響きを生かしながら、発音に気を付けて歌う。		
11	合唱コンクール の自由曲 （混声三部合唱）	・各パートの役割や、旋律の重なり方の違いに注意して、表現を工夫して歌う。 ・作者のメッセージを理解し、曲想を感じ取って表現を深める工夫をして歌う。		・民謡【思考・判断・表現】 ・曲の特徴【思考・判断】 ・時の旅人…音程・発音【知識・技能】、発声・曲想【思考・判断・表現】 ・曲について【知識】、歌詞【学習に向かう態度】 →定期考査 ・合唱のシート【思考・判断・表現】 ・鑑賞のシート【思考・判断・表現】 ・楽曲について【知識】 →定期考査
12	交響曲第5番 ハ短調（鑑賞2）	・動機の繰り返しや変化に注目しながら、曲想の変化を感じ取って聴く。 ・オーケストラの豊かな響きを感じ取る。 ・オーケストラの楽器についての理解を深める。		
1	西洋音楽史 （導入）	・音楽文化の起こり、中世(キリスト教会)までの歴史を学習する。		
2	箏の演奏	・いろいろな奏法を学ぶ。 ・箏の特性を生かして日本の音楽を感得する。		・西洋音楽史【知識】 ・箏…姿勢・運指【技能】、音・旋律線【思考・判断・表現】
3	歌舞伎「勸進帳」	・声や楽器の音色、旋律の特徴に気を付けなが		

2	(鑑賞3)	ら、長唄のよさや美しさを味わう。 ・音楽、舞踊、演技が一体となった歌舞伎のよさを理解する。	・鑑賞のシート【思考・判断・表現】 ・歌詞【知識】【学習に向かう態度】→定期考査
3	やさしさに包まれたなら 音楽を形作っている要素	・パートの関わり合いを理解して、歌詞の内容を深く表現できるように工夫する。 ・ポップスの軽快な流れにのって合唱する。 ・音色、リズム、旋律、ハーモニー、曲想、形式など、一年間で学習したことを振り返る。	・音楽の要素【知識】→定期考査

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	・実技テスト ・定期考査 ・授業内小テスト	・実技テスト ・定期考査 ・ワークシート ・授業内小テスト	・定期考査 ・ワークシートへの記入内容 ・提出物の状況 ・音楽活動に取り組む態度（観察）
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

自己を表現すること、その一つは音楽活動です。充実した授業の時間にするために、次のことに注意してください。

- 1 いろいろな音楽の活動に、「とにかくやってみる」という気持ちで、前向きにとりくみましょう。
 - 2 実技も、知識も、「分からない」ことをそのままの状態にしておかないように、積極的に質問をしてください。
 - 3 授業で使用する物は、いつも準備しておきましょう。音楽バッグに常備しておけばよいです。バッグの中には、中学生の音楽2・3上、器楽、コーラスフレンズ、A4版のファイルを入れておいてください。特に、配布されたプリント類は、次の授業で提出ということもあるので、ファイルに保管して無くさないようにしましょう。
- 昨年より、一回りレベルアップした授業になるよう、共に取り組んでいきましょう。

第 2 学年 美術科 年間指導計画

担当	佐藤七海	教科 目標	(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (2)自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	
教科書 副教材、用具		教科書 資料集 用具	美術 1、美術 2・3（光村図書） 美術資料（秀学社） クロッキー帳、ポスターカラー、鉛筆、習字用具、彫刻刀	
月	題材名 教材名	題材のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法	
4	パッケージデザイン	○パッケージデザインの制作を通して配色や構成についての理解をして表現するとともに、さまざまなもののデザイン性に気付く。 ・色の学習 ・構成の学習	＜知識・技能＞ 自分で設定したターゲットに合わせて配色や構成を選択し、着彩方法や制作手順を工夫して表現することができる。	
5			＜思考・判断・表現＞ ターゲットに応じて配色や構成を考えたり、鑑賞を通してさまざまな配色や構成の組み合わせの工夫や美しさに気付いている。	
6			＜主体的に取り組む態度＞ 設定したターゲットに合わせてさまざまな配色や構成のパターンを考えたり、他者の作品から良いところや工夫を感じ取ろうとしている。	
7			＜知識・技能＞ 木の性質を理解し、彫刻刀を使った飾り彫りの技法を学び、花鳥風月をテーマに自分のイメージ通りに制作することが出来る。	
9	木箱に飾りを彫る	○花鳥風月をテーマに自然の良さを生かしたデザインを考え、制作を通して木の質感や彫刻の使い方を学ぶとともに、彫刻のおもしろさを味わう。 ・彫刻刀の使い方	＜思考・判断・表現＞ 花鳥風月を元にイメージをふくらませてデザインを考え、イメージに合った技法を選択することができる。	
10	墨で描く楽しさ	○水墨画の表現技法を知り、自分の表したいものに合わせて技法の選択をして表現したり、作品を鑑賞することで水墨画や墨の表現の美しさを感じ取る。 ・水墨画	＜主体的に取り組む態度＞ 花鳥風月のテーマについて自分なりに考えてイメージをふくらませたり、他者の作品から良いところや工夫点を見つけて自己の作品に生かそうとしている。	
11			＜知識・技能＞ 水墨画についての理解を深め、表したいものに合わせて墨の濃淡や余白を生かした表現ができる。	
12			＜思考・判断・表現＞ 表現したいものに合わせて、墨の表現や余白の活用を工夫したり、他者の作品を鑑賞することで多様な墨の表現を感じ取っている。	
1			＜主体的に取り組む態度＞ 墨での表現を身に付けようと練習を重ねたり、水墨画の良さや他者の作品の	

2 3	季節感のある暮らしを楽しむ	○四季折々の動植物や天候などから発想を広げ、形や色を工夫してデザインしたり、作品の鑑賞を通して多様な季節の取り入れ方を感じ取る。 ・日本の伝統色	工夫を感じとっている。 ＜知識・技能＞ 四季折々の動植物や天候など、季節を表すものや日本の伝統色について理解し、形や色の組み合わせを工夫して表現することができる。 ＜思考・判断・表現＞ 四季の動植物などから発想を広げテーマを決定し、形や色の組み合わせを考えたり、和菓子や他者の作品を鑑賞することで表現の工夫を感じ取っている。 ＜主体的に取り組む態度＞ 四季から連想されるものを考え出したり、色の組み合わせのパターンを考えたり、他者の作品の良さや工夫を感じ取ったりしている。
--------	---------------	--	---

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評 価 の 方 法	・作品 ・ワークシート ・作業の様子 ・定期考査	・作品 ・ワークシート ・作業の様子 ・定期考査	・ワークシート ・提出物の状況 ・授業に取り組む態度 ・定期考査
比 率	1／3	1／3	1／3

学習のアドバイス

「知識・技能」

・中学校の美術では楽しく創作活動に取り組むだけではなく、美術的な知識や表現方法を学びます。そういった知識や技能が身についているかを定期考査や作業の様子、出来上がった作品から評価をします。定期考査も作品制作もどちらも一生懸命に取り組みましょう。

「思考・判断・表現」

・制作中の作品や、自分の考えを記入するワークシートの内容から、作品制作の中で自分なりの考えをもち、工夫をこらすことができているかを評価します。また、定期考査でも美術的な考え方が身についているか等を見取ります。

「主体的に学習に取り組む態度」

・毎時間授業の終わりに提出してもらったワークシートや、授業中の制作に取り組む態度、知識や技能を身に付けるための取り組みを評価します。毎時間の積み重ねが大切になるので、おしゃべりせずなどせずに集中して取り組みましょう。

・分からないことがあれば、いつでも積極的に質問してください。ひとりでは難しい課題があればアドバイスを聞いたり、手助けを求めることも大切です。わからない・できないままという事がないようにしましょう。

・1年生で学んだことも生かして、作品制作に取り組んでいきましょう。

第2学年 保健体育科 年間指導計画

担当	森田 宮崎	教科 目標	(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。	
教科書 副教材、用具		中学保健体育（学研） 図解中学体育（暁教育図書）		
月	単元名 教材名	単元のねらい 主な学習内容	主な評価項目	
4	体づくり運動	・ 体ほぐしの運動 手軽な運動	《知識・技能》 ・ 体づくり運動の意義と行い方、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《思考・判断・表現》 ・ 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 ・ 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする、話し合いに参加しようとするなどしたり、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)	
	陸上競技 短距離走・リレー (ハードル走)	・ 50、100m ・ バトンパス	《知識・技能》 特性や成り立ち、技能の名称や行い方について理解している。短距離走・リレーでは滑らかな動きで速く走ることやバトンの受け渡しでタイミングを合わせることができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守り、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)	
	保健 健康な生活と疾病の予防	・ 生活習慣病とその予防 ・ がんとその予防 ・ 喫煙と健康 ・ 飲酒と健康	《知識・技能》 健康な生活と疾病の予防について、理解している(生活習慣病、飲酒、喫煙)。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《思考・判断・表現》 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。(授業観察・ワークシート)	
	球技「ベースボール型」 ソフトボール	・ ボール操作 ・ バット操作 ・ 走塁動作 ・ 簡易ゲーム	《知識・技能》 ソフトボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防することができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 ソフトボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ったり、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)	
5				
6				
7				

	体育理論 スポーツの意義や効果と 学び方や安全な行い方	・スポーツが心身と社会性に及ぼす効果	《知識・技能》 運動やスポーツの意義や効果について理解している。(授業観察・ワークシート・定期考査)※技能に係る評価の対象はなし 《思考・判断・表現》 運動やスポーツの意義や効果について自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 運動やスポーツの意義や効果についての学習に積極的に取り組もうとしている。(授業観察・ワークシート)
	水泳	・平泳ぎ ・背泳ぎ	《知識・技能》 水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 水泳に積極的に取り組むとともに、ルールやマナーを守ろうとすること、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど、健康や安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
9	体づくり運動	・体の動きを高める運動 体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを継続する能力を高めるための運動	《知識・技能》 体づくり運動の意義と行い方、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 ・体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする、話し合いに参加しようとするなどしたり、健康に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
10	器械運動 跳び箱運動 マット運動	・切り返し系 ・回転系 ・回転系 ・巧技系	《知識・技能》 跳び箱運動・マット運動の特性や成り立ち、技能の名称や行い方について理解し、基本的な技を滑らかに行うことができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとし、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
	ダンス 創作ダンス	・創作ダンス	《知識・技能》 ダンスの特性や由来、表現の仕方などについて理解している。多様なテーマから表したいイメージを捉え、動きに変化を付けて即興的に表現したり、変化のあるひとまとまりの表現にしたりして踊ることができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話し合いに参加しようとするなどしたり、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
	武道 柔道	・礼法 ・受け身 ・固め技 ・投げ技	《知識・技能》 武道の特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとし、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
11			

1	2	球技「ゴール型」 バスケットボール	・ボール操作 ・ボールを持たない動き ・簡易ゲーム	《知識・技能》 バスケットボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。ボール操作と空間に走りこむ動きなどの動きができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 バスケットボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ったり、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
	2	保健 健康な生活と疾病の予防	・薬物乱用と健康 ・喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ	《知識・技能》 健康な生活と疾病の予防について、理解している(薬物乱用)。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《思考・判断・表現》 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。(授業観察・ワークシート)
		保健 傷害の防止	・傷害の原因と防止 ・交通事故 ・犯罪被害 ・自然災害	《知識・技能》 傷害の防止について理解している(交通事故・自然災害)。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《思考・判断・表現》 傷害の防止について、危険の予測やその回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 傷害の防止についての学習に自主的に取り組もうとしている。(授業観察・ワークシート)
		陸上競技 長距離走	・ペース走 ・記録会	《知識・技能》 長距離走の特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。ペースを守って走ることができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 長距離走に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守り、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
		体育理論	・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方	《知識・技能》 運動やスポーツの学び方や安全な行い方について理解している。(授業観察・ワークシート・定期考査)※技能に係る評価の対象はなし 《思考・判断・表現》 運動やスポーツの学び方や安全な行い方について自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 運動やスポーツの学び方や安全な行い方についての学習に積極的に取り組もうとしている。(授業観察・ワークシート)
3		保健 応急処置	・応急処置	《知識・技能》 傷害の防止(応急処置)について理解している。心肺蘇生法などの技能を身につけている。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 心身の機能の発達と心の健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。(授業観察・ワークシート)
		球技「ゴール型」 ハンドボール	・ボール操作 ・ボールを持たない動き ・簡易ゲーム	《知識・技能》 ハンドボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。ボール操作と空間に走りこむ動きなどの動きができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 ハンドボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ったり、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)

※種目の順番や内容は変更となることがあります。

教科における具体的な言語活動

- ・グループ学習を通して運動のポイントの教え合いを行い、個々の技術向上のきっかけとする。
- ・学習カードの利用で、自己の運動課題や到達度を言語化し、学習に見通しや計画性をもつ。

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	学びに向かう力，人間性等
評価の方法	①定期テスト「知識」にかかわる範囲の得点。 ②学習カードの記述内容 ※①②より読み取れる知識を評価する。 ③技能の習得度 ※③を単元毎に設定し、評価をする。 ※具体的な実技課題や数値目標、評価の観点などは授業内で説明を行う。	①学習カードやノートの記事内容 ・課題設定（自己能力分析） ・課題解決（練習などの工夫） ・活動の記録 ・自己・相互評価 ・まとめ（考察） ②定期テスト「思考力，判断力，表現力等」にかかわる範囲の得点	① 学習カードやノートの記述内容 ・自らの学習状況の把握、進め方、調整 ・振り返り、感想 ② 粘り強い取り組み ③ 授業中の発言内容 ④ 健康・安全への取り組み （集合・整列・準備運動の状況等） ※上記の授業の取り組み方を主に観察・記録し評価する。
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

知識及び技能

- ① 授業中の説明をよく聞くとともに、知識と技能を結びつけるようにする。
- ② プリント学習では時間内に要点をまとめる力をつける。
- ③ 自分の能力を最大限発揮できるように、練習を行う。
- ④ 難しい種目や技能に対しても、自己の課題を設定し、その目標にむけて積極的に取り組む。

思考力，判断力，表現力等

- ① 自己の活動について、丁寧な振り返りを行うとともに書く力をつける。
- ② 課題に対して、仲間同士でアドバイスを積極的に行う。
- ② 課題解決にむけて、工夫した活動を行う。

学びに向かう力，人間性等

- ① 課題に対し積極的に取り組むことができる。
- ② 遅刻・見学・欠席・忘れものをしないで積極的に参加する。
- ③ 健康・安全に配慮して活動する。
- ④ 運動にふさわしい服装、身だしなみで参加する。
- ⑤ 準備運動の動きや声出しをしっかりと行う。

※詳細は授業中に説明があります。

第2学年 技術・家庭科（技術分野）年間指導計画

担当	高橋 徹	教科 目標	(1)生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2)生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。		
教科書 副教材、用具		技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて (開隆堂)			
月	題材名 教材名	題材のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法		
4	あんどんの製作	○エネルギー変換の技術 ・生活や社会とエネルギー変換の技術 ・エネルギー資源の利用 ・電気の利用 ・運動の利用 ・エネルギー変換の技術による問題解決 ・これからのエネルギー変換の技術	<知識・技能> 生活や社会で利用されているエネルギー変換の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み、保守点検の必要性及び、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解しているとともに、安全・適切な製作、点検及び調整等ができる技能を身に付けている。(定期考査、ワークシート) <思考・判断・表現> 生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けているとともに、安全な社会の構築を目指してエネルギー変換の技術を評価し、適切に選択、管理・運用、改良、応用する力を身に付けている。(定期考査、ワークシート) <主体的に学習に取り組む態度> 安全な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。(ワークシート)		
5					
6					
7	ミニダイコンの 袋栽培	○生物育成の技術 ・生活や社会と生物育成の技術 ・さまざまな生物育成の技術 ・生物育成の技術による問題解決 ・これからの生物育成の技術	<知識・技能> 生活や社会で利用されている生物育成の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み及び、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解しているとともに、安全・適切な栽培、検査等ができる技能を身に付けている。(定期考査、ワークシート) <思考・判断・表現> 生物育成の技術が地域の自然環境に及ぼす影響に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身につけているとともに、よりよい地域社会の構築を目指して生物育成の技術を評価し、適切に選択、管理・運用する力を身に付けている。(定期考査、ワークシート) <主体的に学習に取り組む態度>		
9					
10					
11					
12					

1 2 3	情報とコンピュータ	○情報の技術 ・双方向性のあるコンテンツによる問題解決	よりよい地域社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。(ワークシート) <知識・技能> 生活や社会で利用されている情報の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み、情報モラルの必要性及び、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解しているとともに、安全・適切なプログラムの制作、動作の確認及びデバッグ等ができる技能を身に付けている。 (定期考査、ワークシート) <思考・判断・表現> 生活上の問題を見いだして、必要な機能をもつコンテンツのプログラムの設計・制作などの課題を設定し、解決策を構想し、課題を解決する力を身に付けているとともに、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築を目指して情報の技術を評価し、適切に選択、管理・運用、改良、応用する力を身に付けている。(定期考査、ワークシート) <主体的に学習に取り組む態度> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、情報の技術を工夫し創造しようとしている。(ワークシート)
-------------	-----------	--------------------------------	---

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	定期考査 ワークシート 作品	定期考査 ワークシート 振り返りシート 作品	ワークシート 振り返りシート
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

作品製作では、まず基本をしっかり理解して図面通りにつくりましょう。知識・理解の習得が表れます。その後に問題を発見し、課題解決を行います。思考・判断・表現の活用が表れます。ワークシートの記入内容や振り返りシートの感想欄もしっかり記入しましょう。技術の学習に関する態度が表れます。

授業で学んだことをその日のうちに復習して、次回の授業まで忘れないようにしましょう。

第 2 学年 技術・家庭（家庭分野） 科 年間指導計画

担当	齋藤しのぶ	教科 目標	(1)家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2)家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 (3)自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
教科書 副教材、用具		技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生（開隆堂） ワークノート 衣生活・住生活（地域教材社） ティッシュケースカバー製作	
月	単元（題材）名 教材名	単元（題材）のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法
4 5 6	B 衣食住の生活（衣生活） 1. 目的に応じた衣服の選択 2. 日常着の手入れと保管	・衣服で伝わるメッセージ 自分らしくコーディネート ・つなげよう和服の文化 ・上手な衣服の選択 ・衣服の手入れ ・繊維に応じた手入れ ・洗濯について ・補修や収納・保管	<知識・技能> 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。（定期考査、ワークシート） <思考・判断・表現> 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。（定期考査、ワークシート） <主体的に取り組む態度> よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。（ワークシート）
7 9	3. 生活を豊かにするものの製作	・布による作品で生活を演出 ・ティッシュケースの製作実習	<知識・技能> 製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。（定期考査、ワークシート） <思考・判断・表現> 資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。（定期考査、ワークシート）

	4. 持続可能な衣生活		<主体的に取り組む態度> よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(ワークシート)
10	A 家族・家庭生活	・ 幼児のころと今の自分	<知識・技能> 幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解している。(定期考査、ワークシート)
	2 幼児の生活と家族	・ 幼児の体の特徴 ・ 幼児の心の特徴 ・ 発達にとってのおとなの役割 ・ 遊びが必要なわけ	幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解している。
11		- おもちゃの製作 ・ 遊びを支える習慣	<思考・判断・表現> 幼児との関わり方について問題を見出し課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。(定期考査、ワークシート)
	3 幼児とのかかわり	・ 幼児との触れ合い体験	<主体的に取り組む態度> 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(ワークシート)
12		- 事前指導 - 触れ合い体験 - 事後指導 まとめ	<知識・技能> 家族のお互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくすることについて理解している。
		・ 幼児のおやつづくり - 蒸しパンをつくろう ・ 子どもの成長と地域 ・ 持続可能な家庭生活をめざして	家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解している。(定期考査、ワークシート)
1	4 家族・家庭や地域との関わり	・ 家庭生活と地域での活動 ・ 多様な人々が暮らす地域 ・ 地域に暮らす高齢者 ・ 介助体験 ・ 高齢者とのかかわり	<思考・判断・表現> 家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見だし課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察した事を論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。(定期考査、ワークシート)
2			<主体的に取り組む態度> 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(ワークシート)
3			

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	・授業の取り組みの様子 ・ワークシート、プリントの記入状況 ・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・授業の取り組みの様子 ・ノート、ワークシートの記入状況 ・定期考査 ・小テスト	・授業の取り組みの様子 ・ノートの記入状況 ・ワークシートの記入状況
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

- 1 授業中の取り組み方、実習など安全に、積極的に参加しているかどうかを見ます。
- 2 完成した時の評価だけでなく、過程を評価します。毎時間の課題を達成できるようにしましょう。そして課題の提出日を守りましょう。
- 3 実技教科では分かっているだけでは半分です。学習したことを生活に取り入れて、よりよい生活を目指してください。
- 4 年間3回実施される定期考査だけで評価をするのではなく、毎時間の授業に取り組む姿勢、ワークシートやノートの記入状況、提出物などを含め、総合的に評価します。

第2学年 英語科 年間指導計画

担当	宮崎・比内 上水・中村 大槻	教科 目標	外国語におけるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成を図る。
教科書 副教材、用具		NEW CROWN ENGLISH SERIES 2 (三省堂)	
月	単元名 教材名	単元のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法
4月 5月	Starter This Month's Books Lesson 1 Peter Rabbit GET Plus 1 試着してもいいですか	・接続詞 when や if を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。 ・接続詞 when や if を理解し、それを含む英文を即興で話したり、正確に書いたりする。 ・接続詞 that を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。 ・接続詞 that を理解し、それを含む英文を即興で話したり、正確に書いたりする。物語のおおまかな流れや、登場人物の気持ちの移り変わりをまとめるために、ピーターラビットについて書かれた本を読んで、概要を捉える。 ・May I ...? の意味や働きを理解し、それを含む英文を即興で伝え合ったり、正確に書いたりする。	【思考・判断・表現】 ブラウン先生がおすすめする英語の本の紹介記事を要約するために、<i>Peter Rabbit</i> と <i>Sherlock Holmes</i> のあらすじと作者について書かれた記事を読んで、概要を捉えている。 【知識・技能】 ・接続詞 that を用いた文の構造を理解し、自分のことについて伝え合ったり、書いたりする技能及び相手のもとについて聞いたり、読んだりして内容を理解できる技能を身に付けている。 ・「質問する」「情報を付け加える」表現の意味や働きを理解している。 ・May I ...? の意味や働きを理解している。 【思考・判断・表現】 物語のおおまかな流れや、登場人物の気持ちの移り変わりをまとめるために、ピーターラビットについて書かれた英文を読んで、概要を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている ・言語活動への取り組みに関して、見通しを立てたり振り返ったりし、自らの学習を自覚的に捉えている。 (授業観察・パフォーマンステスト・振り返りシート・定期テスト)
6月	Lesson 2 My Dream	・to 不定詞を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。 ・to 不定詞を理解し、それを含む英文を即興で伝え合ったり、正確に書いたりする。	【知識・技能】 ・to 不定詞の特徴やきまりに関する事項を理解し、自分のことについて伝え合ったり、書いたりする技能及び相手のもとについて聞いたり、読んだりして内容を理解できる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・花が農家になりたいと考える3つの理由をまとめるために、花の将来の夢について書かれたスピーチを読んで、要点を捉えている。 ・スピーチコンテストに参加するために、将来の夢やしてみたいことについて、自分の考えや気持ちを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている ・言語活動への取り組みに関して、見通しを立てたり振り返ったりし、自らの学習を自覚的に捉えている。 (授業観察・パフォーマンステスト・振り返りシート・定期テスト)

6 月 7 月	Take Action! Listen 2 チャリティーのお知らせ Reading for Information 1 施設の利用案内 Lesson 3 Every Drop Counts	・ There is [are]....を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。 ・ There is [are]....を理解し、それを含む英文を即興で話したり、正確に書いたりする。 ・ 動名詞を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。 ・ 動名詞を理解し、それを含む英文を即興で話したり、正確に書いたりする。 ・ must...や must not...の意味や働きを理解し、それを含む英文を即興で伝え合ったり、正確に書いたりする。	【知識・技能】 ・ There is [are]....を用いた文の構造を理解し、自分のことについて伝え合ったり、書いたりする技能及び相手のもとについて聞いたり、読んだりして内容を理解できる技能を身に付けている。 ・ 動名詞の意味や働きを理解し、分のことについて伝え合ったり、書いたりする技能及び相手のもとについて聞いたり、読んだりして内容を理解できる技能を身に付けている。 ・ ある場所のルールについて、must...や must not...などを用いて、禁止事項を即興で伝え合う技能を身に付けている。 ・ ある場所のルールについて、must...や must not...などを用いて、禁止事項を即興で正確に書く技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・ ワルカ・タワーの仕組みや長所をまとめるために、ワルカ・ウォーター・プロジェクトについて書かれた記事を読んで、概要を捉えている。 ・ English Camp のタレントショーでの出し物を決めるために、出し物の内容について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている ・ 言語活動への取り組みに関して、見通しを立てたり振り返ったりし、自らの学習を自覚的に捉えている。 (授業観察・パフォーマンステスト・振り返りシート・定期テスト)
9 月	Lesson 4 Uluru Take Action! Listen 3 Take Action! Talk 3	・ 〈動詞 (give など) +A+B〉を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。 ・ 〈動詞 (give など) +A+B〉を理解し、それを含む英文を即興で話したり、即興で伝え合ったり、正確に書いたりする。 ・ 〈動詞 (call, make など) +A+B〉を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。 ・ 〈動詞 (call, make など) +A+B〉を理解し、それを含む英文を即興で話したり、即興で伝え合ったり、正確に書いたりする。	【知識・技能】 〈動詞 (give など) +A+B〉〈動詞 (call, make など) +A+B〉の特徴やきまりに関する事項を理解し、自分のことについて伝え合ったり、書いたりする技能及び相手のもとについて聞いたり、読んだりして内容を理解できる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・ ウルルでできることと、してはならない事をまとめるために、ウルルについて書かれたコラムを読んで、要点を捉えている。 ・ エッセイコンテストに応募するために、行ってみたい国について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。 アメリカ行きの飛行機に乗るために、搭乗する飛行機の変更点について話された英文を聞いて、必要な情報を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている ・ 言語活動への取り組みに関して、見通しを立てたり振り返ったりし、自らの学習を自覚的に捉えている。 (授業観察・パフォーマンステスト・振り返りシート・定期テスト)

1 0 月	Reading for Information 2 レストランのメニュー Reading for Fun 1 A Pot of Poison Lesson 5 Things to Do in Japan	・have to ... や don' t have to ... の意味や働きを理解し、それを含む英文を即興で伝え合ったり、正確に書いたりする。 ・形容詞の比較級 (-er/-est) を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。 ・形容詞の比較級 (-er/-est) を理解し、それを含む英文を即興で話したり、即興で伝え合ったり、正確に書いたりする。 ・形容詞の比較級 (more/most) を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。 ・形容詞の比較級 (more/most) を理解し、それを含む英文を即興で話したり、即興で伝え合ったり、正確に書いたりする。 同等比較 (as ... as ~) ・副詞の比較級を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。 ・同等比較 (as ... as ~) ・副詞の比較級を理解し、それを含む英文を即興で話したり、即興で伝え合ったり、正確に書いたりする。	【知識・技能】 ・have to ... や don' t have to ... 形容詞の比較級 (-er/-est) 形容詞の比較級 (more/most) 同等比較 (as ... as ~) ・副詞の比較級の意味や働きを理解し、自分のことについて伝え合ったり、書いたりする技能及び相手のもとについて聞いたり、読んだりして内容を理解できる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 決まった予算や条件の中で買う食べ物や飲み物を提案するために、料理や金額について書かれたレストランのメニューを読んで、必要な情報を捉えている。 【思考・判断・表現】 ・物語のおおまかな流れなどを理解するために、3 人の小僧と和尚のつぼについて書かれた物語を読んで、概要を捉えている。 ・歓迎会でを行うアクティビティの得票数と活動例をまとめるために、姉妹校の生徒たちの意見について書かれたメールを読んで、要点を捉えている ・ニュージーランドの中学生に日本のことを知ってもらうために、日本の中学生に人気のあるもののアンケートの結果について、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。 ・遊園地でできることを知るために遊園地のイベント情報について話された英文を聞いて要点を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている ・言語活動への取り組みに関して、見通しを立てたり振り返ったりし、自らの学習を自覚的に捉えている。 (授業観察・パフォーマンステスト・振り返りシート・定期テスト)
1 1 月 1 2 月	GET Plus 5 演奏の仕方を教えましょう Reading for Information 3 公園の看板 Project 2 修学旅行のプランを提案しよう Lesson 6 Tea from China <u>USE Write</u>	・疑問詞 (how など) + to ... の意味や働きを理解し、それを含む英文を即興で伝え合ったり、正確に書いたりする ・現在完了形 (継続用法) の肯定文を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。 ・現在完了形 (継続用法) の肯定文を理解し、それを含む英文を即興で話したり、即興で伝えたり、正確に書いたりする。	【知識・技能】 ・疑問詞 (how など) + to ... の意味や働き、現在完了形 (継続用法) の特徴やきまりに関する事項を理解し、自分のことについて伝え合ったり、書いたりする技能及び相手のもとについて聞いたり、読んだりして内容を理解できる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・お茶の起源や種類などについてまとめるために、中国茶について書かれたウェブサイト (の記事) を読んで、概要を捉えている。 ・中国のおみやげをくれたメイに日本のおみやげをあげるために、おみやげの特徴や用途について、事実などを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている ・言語活動への取り組みに関して、見通しを立てたり振り返ったりし、自らの学習を自覚的に捉えている。 (授業観察・パフォーマンステスト・振り返りシート・定期テスト)

1 月	Take Action! Talk 5 お手伝いしましょうか GET Plus 6 大きい声で話していただけますか Reading for Information 4 オリビエサラダのレシピ	・「申し出る」「困っていることを伝える」表現の意味や働きを理解し、それを含む英文を即興で伝え合う。 ・Could you ...?の意味や働きを理解し、それを含む英文を即興で伝え合ったり、正確に書いたりする。	【知識・技能】 ・「申し出る」「困っていることを伝える」表現の意味や働きを理解している。 ・ Could you ...?の意味や働きを理解し、誰かに依頼したいことについて、Could you ...?などを用いて、ていねいにその内容を即興で伝え合う技や書く技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・困っている人に助けを申し出るために、相手が失くしたものについて、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 ・困っていることを伝えるために、失くしたものについて、事実や自分の考えを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 ・料理を作るために、材料や手順について書かれたレシピを読んで、必要な情報を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている ・言語活動への取り組みに関して、見通しを立てたり振り返ったりし、自らの学習を自覚的に捉えている。 (授業観察・パフォーマンステスト・振り返りシート・定期テスト)
2 月	Lesson 7 Rakugo Goes Overseas USE Write Take Action! Listen 6 プレゼントの相談	・現在完了形（完了用法）の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。 ・現在完了形（完了用法）の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を即興で話したり、即興で伝えたり、正確に書いたりする。 ・現在完了形（経験用法）の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。 ・現在完了形（経験用法）の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を即興で話したり、即興で伝えたり、正確に書いたりする。	【知識・技能】 ・現在完了形（完了用法）（経験用法）の特徴やきまりに関する事項を理解し、自分のことについて伝え合ったり、書いたりする技能及び相手のもとについて聞いたり、読んだりして内容を理解できる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・大島希巳江さんが受けたインタビューを要約するために、大島希巳江さんの英語落語家としての活動や考えについて書かれた記事を読んで、要点を捉えている。 ・英語版の学校新聞に先生のプロフィールを載せるために、お気に入りのものなど先生に質問したいことを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えている。 - メンバーや参加者を募集するために、部活動やイベントについて、簡単な語句や文を用いて、事実などを正確に書いている。 ・退院のお祝いに何を渡すか検討するために、2つのプレゼントの候補について話された英文を聞いて、要点を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている ・言語活動への取り組みに関して、見通しを立てたり振り返ったりし、自らの学習を自覚的に捉えている。 (授業観察・パフォーマンステスト・振り返りシート・定期テスト)
3 月	Take Action! Talk 6 それもいい案だと思うけど	・「意見を言う」「反対する」表現の意味や働きを理解し、それを含む英文を即興で伝え合う。	【知識・技能】 ・「意見を言う」「反対する」表現の意味や働きを理解している。

Project 3 ディスカッションをしよう Reading for Fun 2 The Little Prince	・A：意見を交わし、議論を深めるために、転校する友だちへのプレゼントについて、自分の意見を、簡単な語句や文を用いて述べ合う。 ・B：意見を交わし、議論を深めるために、転校する友だちへのプレゼントについて、相手の意見に反対する理由を、簡単な語句や文を用いて述べ合う。 ・物語のおおまかな流れなどを理解するために、星の王子さまの旅について書かれた物語を読んで、概要を捉える。	・友だちに贈るものについて、自分の意見やその理由を整理し、「意見を言う」「反対する」表現などを用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 A：意見を交わし、議論を深めるために、転校する友だちに贈るものについて、自分の意見を、簡単な語句や文を用いて述べ合っている。 B：意見を交わし、議論を深めるために、転校する友だちに贈るものについて、相手の意見に反対する理由を、簡単な語句や文を用いて述べ合っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている ・言語活動への取り組みに関して、見通しを立てたり振り返ったりし、自らの学習を自覚的に捉えている。 (授業観察・パフォーマンステスト・振り返りシート)
---	---	---

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	・定期考査 ・パフォーマンステスト ・授業やワークシート等への取り組み状況	・定期考査 ・パフォーマンステスト ・発表 ・授業やワークシート等への取り組み状況	・授業や提出物、ワークシート等の取り組み状況 ・パフォーマンステストや発表などにあきらめずに取り組む様子
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

中学校2年生の英語は音声指導を重視します。都立高校入試において2023年度入試より、スピーキングテストが実施されることから、これからは話す力も付けることが求められています。家庭学習では、まずは英語を声に出して読むことが大切です。徹底した教科書の音読が英語力伸長の近道です。目安としては教科書本文が暗唱できる位まで読み込みましょう。個人差はありますが、1ページあたり30回程度読むと効果的です。読めるようになった表現は実際にノートに書いて、音と文字のつながりを意識しながら何度も書いて見ましょう。「読む→書く」という学習の流れをとってください。音読をおろそかにして、書くことや問題演習中心の学習になってしまうと、いずれ頭打ちになってしまう場合があります。副教材では新英語のワークという教材を使います。くり返し取り組むことが大切です。たくさん問題集や教材に1度だけ触れるよりも、同じ問題を理解するまで何度もくり返すことで、確かな実力が培われると思います。3回は繰り返すとよいでしょう。最後に、授業を大切にしてください。
--

第2学年 道徳科 年間指導計画

担当	各担任	教科 目標	思いやりの心を持ち、協力し合う心を育てる。互いに励まし合い、向上しあえる生徒を育てる。	
教科書 副教材、用具		光村図書 中学道徳2 きみがいちばんひかるとき 東京都道徳教育教材集 キラリノート		
月	単元（題材）名 教材名	単元（題材）のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法	
4	道徳の授業を始めよう！ 【C（15）よりよい学校生活，集団生活の充実】 テニス部の危機 【A（1）自主，自律，自由と責任】 カラカラカラ	・道徳で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせる。 ・集団の一員として、よりよくあるために大切なことを考えさせ、集団生活を充実させていくための判断力を育てる。 ・自ら考えて行動するとはどういうことかについて考えさせ、物事を自主的に考え、判断し、誠実に実行しようとする実践意欲と態度を育てる。	年間を通して、以下の2点のから評価を行う ・一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているか ・道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか 評価材料 【授業観察・発言・道徳ノート】	
5	【B（9）相互理解，寛容】 ジコチュウ 【B（8）友情，信頼】 松葉づえ	・考えや立場の違いを尊重し合うためにどんなことが大切なのかを考えさせ、相互理解に努め、他者に対して寛容な気持ちで接しようとする実践意欲と態度を育てる。 ・「友情」とはどういうものかを考えさせ、心から信頼し、助け合える友達関係を築いていこうとする心情を育てる。		
6	【C（12）社会参画，公共の精神】 消防団 【C（11）公正，公平，社会正義】 明日，みんなで着よう	・地域のために活動することについて考えさせ、自分の地域や社会に積極的に関わっていこうとする心情を育てる。 ・誰もが安心して過ごせる社会にするために大切なことについて考えさせ、いじめや差別、偏見のない社会を実現していこうとする実践意欲と態度を育てる。		
	【C（11）公正，公平，社会正義】 深めたいむ	・「いじめ」をなくすために大切なことは何か考える。		

7	【D (19) 生命の尊さ】 命が生まれるそのときに (「東京都道徳教育教材集」を活用) 【A (1) 自主, 自律, 自由と責任】 許せないよね	・「生きている」ことの尊さについて考えさせ、生命を尊重しようとする心情を育てる。 ・自分の行動に責任をもつことの大切さについて考えさせ、物事を自律的に実行して、その結果に責任をもとうとする判断力を育てる。	
	【D (22) よりよく生きる喜び】 あと一歩だけ、前に 【C (14) 家族愛, 家庭生活の充実】 異なり記念日	・自分を見つめ、人として生きていくことがどういうことなのかを考えさせ、弱さや醜さを克服してよりよく生きていこうとする心情を育てる。 ・温かい信頼関係や愛情のある「家族の在り方」について考え、家族の一員としての自覚をもって積極的にに関わり、よりよい家族関係を築いていこうとする心情を養う。	
9	【D (19) 生命の尊さ】 ★紙芝居 【A (2) 節度, 節制】 夢中になるのは悪いこと? 【A (2) 節度, 節制】 深めたいむ	・紙芝居サークル「原っぱ」の演じ手を講師に招き、生命尊重をテーマとした紙芝居を観賞する。 ・望ましい生活習慣について考えさせ、節度を守り、節制を心がけた生活を送ろうとする実践意欲と態度を育てる。 ・携帯電話やスマートフォンを使うときに、必要な心構えを考える。	
10	【B (7) 礼儀】 秀さんの心 【C (13) 勤労】 段ボールベッドへの思い 【C (17) 我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度】 一枚の布から 【C (16) 郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度】	・礼儀の意味について考えさせ、心の籠もった適切な言動を取ろうとする実践意欲と態度を育てる。 ・人にとって働くことにはどんな意味があるのかを考えさせ、人や社会のために働こうとする実践意欲と態度を育てる。 ・伝統や文化のよさについて考えさせ、それらを継承していこうとする心情を育てる。 ・故郷を思う心について考えさせ、郷土の伝統と文化を継承することに努めようとする実践意欲と態度を育てる。	

1 1	私の町 【A (5) 真理の探究, 創造】 スカイツリーにかけた夢	る。 ・新しいものを生み出していくときに大切なことについて考えさせ、真理を探究して新しいものを創造しようとする実践意欲と態度を育てる。	
	【C (10) 遵法精神, 公德心】 民主主義と多数決の近くて遠い関係	・集団や社会の中で合意形成するとき、大切にすべきことについて考えさせ、法を遵守し、公德を重んじようとする判断力を育てる。	
	【C (10) 遵法精神, 公德心】 深めたいむ	・複数の人と話し合って何かを決めることの意義や効果について、考えを深める。	
	【B (9) 相互理解, 寛容】 「桃太郎」の鬼退治	・考え方や立場の異なる者どうしが理解し合うことについて考えさせ、相互理解に努め、他者に対して寛容な気持ちで接しようとする心情を育てる。	
	【C (18) 国際理解, 国際貢献】 むこう岸には （「東京都道徳教育教材集」を活用	・他国の人々や文化を理解するとともに、互いに尊重し合い、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする心情を育てる。	
1 2	【D (20) 自然愛護】 僕の仕事場は富士山です	・自然を守るために大切なことについて考えさせ、自然を愛し守っていかうとする実践意欲と態度を育てる。	
	【D (21) 感動, 畏敬の念】 宇宙の始まりに思いを寄せて	・「感動する心」を見つめさせ、自然や崇高なものに対して感動する心を大切にして生きようとする心情を育てる。	
	【D (19) 生命の尊さ】 つながる命	・「命」について考えさせ、生命を尊重しようとする心情を育てる。	
1	【A (3) 向上心, 個性の伸長】 優しさの光線	・自分の「よさ」について考えさせ、向上心をもち、個性を伸ばしていこうとする心情を育てる。	
	【D (22) よりよく生きる喜び】 人って、本当は？	・人のもつ強さや弱さ、自分のよりよく生きる道について考えさせ、よりよく生きていこうとする実践意欲と態度を育てる。	
	【A (4) 希望と勇気, 克己と強い意志】 夢の力	・今の自分と向き合い、夢や目標の達成に向け、希望と強い意志をもって、生きていく実践意欲と態度を育てる。	

2	【A (4) 希望と勇気, 克己と強い意志】 深めたいむ	・目標を達成するために大切なことについて考える。	
	【A (3) 向上心, 個性の伸長】 嫌われるのを恐れる気持ち	・いろいろなものの見方や考え方を理解しながら、自らを高めていくことの大切さについて考えさせ、向上心を持ち、個性を伸ばしていこうとする判断力を育てる。	
3	【B (6) 思いやり, 感謝】 気づかなかったこと （「東京都道徳教育教材集」を活用	・日々の生活で人と接するときに必要なことは何かを考えさせ、他者への思いやりや感謝の気持ちをもって行動していこうとする実践意欲と態度を育てる。	
	【C (11) 公正, 公平, 社会正義】 クロスプレー	・公正な心をもつことの大切さについて考えさせ、正義と公正、公平さを重んじようとする心情を育てる。	
	【D (19) 生命の尊さ】 泣きすぎてはいけない 道徳の学びを振り返ろう	・「生きる」ということについて考えさせ、生命を尊重しようとする心情を育てる。 ・1年間の道徳で学んだことを振り返り、これからの自分の生き方について考えを深め、学んだことを生かしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	

学習のアドバイス

道徳の時間では、よりよい生き方について考えていきます。

- ① 教材を通して道徳的な問題を見つけ、②その問題について考えを深め、③深めた考えを自分の生活で生かしていけるようにします。他者との対話、自分との対話を通して、考えを深めていきましょう。その中で、多様な感じ方や考え方、ものの見方を身につけていきましょう。

令和4年度 第2学年 総合的な学習の時間 年間活動計画 小平市立小平第五中学校

月(時)	活動内容(時数)	関連する教育活動	評価規準
4月 (3)	オリエンテーション(2時間) ・今年度の学習内容		
5月 (6)	職業について考える(8時間) ① わたしたちの生活と職業 ② さまざまな職業と適正 ③ ハローワークによる講話 レディネステスト	・社会 ・国語	・意欲的に体験に取り組むことができたか。 ・学んだことを振り返り、自分の生き方を見つめることができる。
6月 (8)	校外学習(25時間) ① オリエンテーション ② 調べ学習(名所・文化遺産等) ③ 観光ガイド作成	・技術、国語、社会 ・社会 ・道徳	・学習への興味、関心をもち、意欲的に取り組むことができたか。 ・目標に合わせ、自己の成長をはかることができる。
7月 (6)	④ 行動計画作成 ⑤ 集団生活や公衆道徳の向上に関する学習(係活動、決まり・マナーの確認)		・学んだことをわかりやすくまとめることができたか。
9月 (8)	⑥ 行動新聞作成 ⑦ まとめ(班で発表)	・技術、国語、社会	・発表を通し、わかりやすく伝えることができたか。
10月 (8)	キャリアプランニング(6時間) ①自分の将来について考える ②不安や悩みに向き合おう ピアカウンセリング ③社会に生きることを考える	・道徳 ・特別活動	・学習への興味、関心をもち、意欲的に取り組むことができたか。 ・学んだことから、自己の成長をはかることができる。
11月 (8)	上級学校調べのまとめ(6時間) ・進路についての情報収集、(高校、高専、専修学校など)	・国語	・まとめをしながら自分の生き方について考えることができたか。
12月 (6)	SDGs(10時間) ① Presentation Plan Sheetを資料を見て作成 ② Chrome Bookでスライド作り、発表原稿作り	・国語 ・特別活動 ・社会 ・理科 ・道徳	・SDGsを理解し、自分事として捉え、問題提起と解決方法を考えることができたか。 ・考えたことを発表し、ミニポスターを作成し、自分の考えを伝えることができたか。
1月 (6)	③ 発表 ④ ミニポスター作成		
2月 (6)	生命について考える(3時間) ①性についての講話を聞く ②まとめ、お礼状の作成	・国語 ・社会 ・道徳 ・保健体育	・学習への興味、関心をもち、意欲的に取り組むことができたか。 ・学んだことを振り返り、自分の生き方を見つめることができたか。
3月 (5)	進路学習(8時間) ①上級学校パンフレットの見方 ②都立入試の得点計算の仕方 ③上級学校の先生の話聞く ④①④まとめ、お礼状の作成	・国語 ・数学 ・社会 ・道徳	・学習への興味、関心をもち、意欲的に取り組むことができたか。 ・学んだことを振り返り、自分の進路の見通しをもつことができたか。
	1年間の学習のまとめ(2時間) 1年間の学習内容と自己の学習課題の振り返り 次年度の課題と今後の生き方を考える	・道徳 ・国語 ・社会	・学んだことを振り返り、自分の生き方を見つめることができたか。
合計 70 時間			

第2学年 特別活動年間指導計画

担当	上水	教科 目標	集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いの良さを発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質・能力を育成することを目指す。		
月	学校行事	生徒会活動	学級活動		
			学級・学校での 生活づくり	学校生活への適 応、成長と健康 安全	キャリア形成と 自己実現
4月	始業式 入学式 離任式	生徒会・委員会の 組織・計画づくり 生徒会オリエン テーション	学級目標・係活動	中堅学年として の心構え 連休の過ごし方	生徒会活動への 参加 生徒会議案書討 議
5月	身体計測 運動会 音楽鑑賞教室	生徒総会 運動会への取り 組み	学級の問題点	運動会への取り 組み 効果的な学習法 健康な生活	中学校生活と生 徒会
6月					
7月	終業式 大掃除	選挙管理委員会 1学期の反省	1学期の反省	夏休みの過 ごし方	
9月	始業式	立会演説会 生徒会役員選挙	夏休みの反省 2学期の学級生活	地震と安全	男女相互の理解 と協力 職業とは何だろ う
10月	合唱コンク ール	合唱コンクール への取り組み	学級目標の振り 返り	合唱コンクール への取り組み	
11月	薬物乱用防止 教室		家庭学習のあり 方	読書指導と図書 室の利用	
12月	終業式	2学期の反省 都生徒会長サミ ット	2学期の反省	冬休みの生活 校外学習の意義 と目的	新年の抱負 上級学校調べ 1年間の自己の 歩み 進級への心構え 先輩の進路と私 の進路
1月	始業式 校外学習		学級目標の振り 返り	校外学習の取り 組み 冬の健康 食生活の見直し、 望ましい食習慣 展示発表会の意 義と目的	
2月		中学校体験入学 卒業式準備	学習の反省		
3月	展示発表会 奉仕・美化活動 卒業式 終了式 ※毎月、全校朝 礼を行う ※9月に防災訓 練、他の月は避 難訓練を行う	3学期・本年度の 反省 ボランティア活 動のまとめ 新年度に向けて ※毎月、専門委員 会・中央委員会・ 生徒朝礼・あいさ つデーを行う。	奉仕・美化活動の 意義と目的 学級生活 の反省		

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要になることについて理解している。 ・自己の生活の充実・向上や自己実現に必要な情報および方法を理解している。 ・よりよい生活を構築するための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方などの技能を身につけている。	・所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法を話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践している。	・生活や社会、人間関係をよりよく構築するために自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 ・主体的に人間としての生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとしている。
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

- ・積極的に話し合いに参加してみよう。
- ・自分の考えをみんなに話してみよう。
- ・他の人の意見をしっかり聞きましょう。
- ・自分をしっかり見つめていこう。